

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

May / 14 / 2021 # 98

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

INDEX

- [1] 旬な話題、気になる話題
『動画によるコンクール』
 - [2] Pepeのひとりごと
『コンクールへのチャレンジ』
 - [3] おすすめ動画
『Alain Trudel et le trombone | Orchestre symphonique de Laval』
『Trombone Concerto - L. GRØNDAHL - J. REITH』
 - [4] 演奏のヒント！
『エチュードの紹介』
 - [5] 編集後記
-

[1] 旬な話題、気になる話題

『動画によるコンクール』

スペインのユーフォニアム、チューバ協会、「AETYB」のEuphoniumのソロ・コンクールの1次予選の審査員を務めさせていただくことになり、つい先日、参加者全員の演奏動画を聴かせて（観させて）もらいました。

参加者は29名。課題曲はA.Frackenpohl作曲の無伴奏のSonataでした（彼の書いたソナタには、ピアノ伴奏のある曲もあります）。

この曲は3楽章あるのですが、このコンクールではすべてリピートをしての全曲演奏（2人ほど1つリピートをしないで演奏してましたが。汗）。
1人12分くらいの動画を計29本。

そう、休みなく聴き続けても1時間に5人、ゆうに6時間以上かかる計算になったので、審査をする前段階での覚悟が必要でした（可能な限り同じ日にすべてを聴きたかったのだ）。

当日は、朝6時前に起きて、6時過ぎからスタート！
途中、ヘッドフォンをしているため耳が痛くなってきて休憩時間を長めに取ったりと、工夫をしながら進めていき、無事にその日の夜にすべての審査を終えることができました！

音楽だけでなく、いろいろな分野で大会などのイベントができない状態が続いていますが、こうしてビデオでのコンクール開催ができたのは、とてもよかったと思います。

僕自身、若い頃はたくさんのコンクールにチャレンジして、いろいろなところから刺激を受けて学んでいくことができましたし、何よりいろいろな国に友達がたくさんできました！（国際コンクールの場合）

今、審査員という側からしても、たくさんの若い人たちの演奏を聴くことで、とってもいい刺激をもらうことができ嬉しかったです！

僕もまた、これからもますますがんばっていきます！！ :D

[2] Pepeのひとりごと

『コンクールへのチャレンジ』

このような世の中になってしまい、国内外の数々のコンクールが開催を断念せざるを得なかったり、これまでとは違う環境での実施（無観客など）ということになってしまっています。

それでも、たくさんの人の努力、献身、協力の下行われていることを耳にすると、とても嬉しく思います。

ぜひ、まだコンクールを受けることができる若い人たちには、可能な限りのいろいろなものに参加してもらいたいと思います。

どうしてかという、僕自身、いろいろなコンクールにチャレンジすることによって、曲のレパートリーが増えたからなんです。

日本の音楽大学などでの試験では、時間制限があり、あまり大きな曲をたくさんやる機会がないと聞いています。

いろいろなコンクールに参加すると、そのコンクールごとに課題曲などがあり、少なくともそれらの曲を勉強することになります。

僕の経験から言うと、大きなコンクールほど演奏しないといけない曲が多く、いろいろなジャンルから曲が選ばれているように思います（現代曲や無伴奏曲など）。

僕自身、こういうコンクールに参加することを繰り返すことによって、自分の曲のレパートリーは増えていきましたし、いろいろな曲にチャレンジする機会を得ていきました。

特に、無伴奏の曲や現代曲などは、何から手を付けていけばいいのかわからないことが多くあると思います。

そういうとき、コンクールから要求される曲をやっていくと、自然とレパートリーが増えていきます（選択曲の場合、そのリストにある曲を可能な限り購入してやってみてください）。

こういう理由と自分の経験から、コンクールへのチャレンジは強くおすすめします！ ;)

[3] おすすめ動画

『Alain Trudel et le trombone | Orchestre symphonique de Laval』
<https://www.youtube.com/watch?v=vVwrGCP1Jbg&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=8>

先月は2本ともEuphoniumの動画だったので、今月はTromboneの動画を紹介しますね。

まず1つ目は、Alain (Trudel氏) の演奏です。

もう今から10年くらい前になるとと思いますが、彼はがん闘病をしていて一時演奏から離れていました。

詳しくいつ頃からかはわからないのですが、指揮者としても活動を活発にしている、今も指揮活動もやっています。

その後、がん闘病を乗り越え、さらに演奏家としても復活してくれました～！！彼のファンである僕からすると、とっても嬉しいことです！ :D ;)

僕は、彼のレッスンからたくさん学んだことがあり、かなり影響を受けています。

ぜひまた日本でもマスタークラスやコンサート等をやってもらいたいなあ。

『Trombone Concerto - L. GRØNDAHL - J. REITH』

<https://www.youtube.com/watch?v=TNOi65x4SYU&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=7>

2つ目の動画は、パリ管弦楽団の首席Trombone、Jonathan Reith氏の演奏するGrondahl作曲のコンチェルトです。
彼とは面識はないのですが、いつかソロの演奏も聴いてみたいなあ、と思っていました。

すると、ふとしたことからこの動画が現れてきて、聴くことができました～！！ :D

とても素晴らしい演奏です！ ;)

[4] 演奏のヒント！

『エチュードの紹介』

今月は、ちょっと趣を変えて、エチュードを紹介しようと思います。
少し前にエチュードの紹介を何回か続けてやったように記憶していますが、久しぶりにその復活？？（笑）

今日は、L.Mildeという人の2種類のエチュードを紹介します。
1つ目は、

25 Studies in Scales and Chords op.24

です。
そして2つ目は、

50 Concert Studies op.26

です（こちらは、僕の買ったものは2巻に分かれています）。

これらはファゴットのためのエチュードで、昔からEuphonium奏者の間ではよく使われていたものだと思います（僕の世代だけで、もしかしたら最近の学生たちはやっていないのかもしれないけど・・・）。

低音域での動きも多く、低音域に対して苦手意識が強い人には特におすすめだと思います。

実は、半年か1年弱前から、Tromboneでもこのエチュードをさらい始めたんです。

（今までTromboneではやってなかったのは、低いBナチュラル＝H＝の音が出てくるんです。なので、Tromboneではやっていませんでした。でも、低音域をもっとしっかりしたものになりたい！と思い、その音をフェイクで取りながらやるようにして今はやっています）

広い音域でのコントロールのとてもいい練習になるので、Euphoniumの人もTromboneの人も、ぜひやってみてくださいね！ ;)

編集後記

先日、4月に受けた健康診断のあとの2次検査というものがあった、無料で普段なかなか受けることができない検査（心臓のエコーと頸動脈のエコー）を受けられる、ということで検査に行ってきました。

4月の、年に一度の定期的な健康診断のあと1ヶ月してからだったのですが、その1ヶ月の間にいくつか改善すべきポイント、というものを与えられていました（ま、要するにもう少し痩せなさい、ってこと。笑）。

その1ヶ月の間は、体重を落とすために何かをする、というよりは、今後も健康な状態を維持するためにすべきこととして自分が納得したものをやっていました。

そして先日の検診で、血液検査といくつか計測をしたのですが、そこで、中性脂肪、体脂肪率、そして筋肉量がとてもいい感じに良くなっているようで、すごく検査をしてくれる人に驚かれると同時に喜んでもらえ、褒められました～（笑）。 :D ;)

ちょっといい気分になれて、その後も前向きに過ごせています（それまで後ろ向きだったわけではありませんが。笑）。

この調子で、心身ともに健康に過ごしていこうと思います！ ;)

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト
<http://www.pepeabe.com>
ご意見、感想、質問などはメールどうぞ！
info@pepeabe.com

©阿部竜之介 『Pepeの視点』
のバックナンバー、配信停止はこちら
<http://www.mag2.com/m/0001601194.html>